

次期「長野県教育振興基本計画」の指標について

○「個人と社会のウェルビーイングの実現」に向けた指標の設定

次期計画の目指す姿「個人と社会のウェルビーイングの実現」のもと、定量的な「客観的指標」に加え、幸福感や自己実現・自己受容、協同性・向社会性といった主観に基づく要素の測定を「主観的指標」として設定し、ウェルビーイングの実現度合いを実態的に把握する。

例えば…

【現行（第三次）計画成果指標】

- 主観的指標 → 「自分にはよいところがある」と答える児童生徒の割合、
「将来の夢や希望を持っている」と答える児童生徒の割合
- 客観的指標 → 海外留学率、スポーツ活動参加率

※次ページの「(別紙) 現行（第三次）計画の成果指標一覧」欄外に「主観」「客観」を記載

○指標の設定にあたって

論点：主観に基づくものを「〇%まで上昇させる」といったように数値目標を設定し、「〇年度までにもう〇%上げなければならない」と点検評価することは適切か。

➤「主観的指標」の目標値は設定しないとするのはどうか。

ただし、数値の計測は続け、分析のための実態把握を続けていくことは必要ではないか。また、「主観的指標」の中でも、目標値設定になじむ指標もあるのではないか。

例えば…

- ・「学校に行くのが楽しい」と答える児童生徒の割合
→「楽しい」と思うことの強制につながる恐れがあるため目標値設定しないが、実態把握のため数値は計測し、次年度の施策検討に生かす。
- ・「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合
→主観的ではあるが、児童生徒の目から授業の質を評価するものであるため、目標値を設ける。

➤目標値を設定しない場合、取組の成果をどのように評価していくか。

- ・「上昇（下降）」等の傾向を目標とする。
- ・当該指標に関連する・支える測定可能な指標を置き、目標値を定める。

例えば…

- ・「将来の夢や希望を持っている」と答える児童生徒の割合
→「夢や希望を持つこと」の強制につながる恐れがあるため、目標値は設定しないが、関連する要素として高校生の「海外留学率」を設定、目標値を定め点検評価していく。

(別紙) 現行 (第三次) 計画の成果指標一覧

基本目標1 生きる力と創造性を育む信州ならではの「学び」を実践します		
施策1 未来を切り拓く学力の育成		
客観	県内の小6児童のうち、全国上位4分の1に含まれる児童の割合 (算数)	全国学力・学習状況調査
客観	県内の小6児童のうち、全国下位4分の1に含まれる児童の割合 (算数)	
客観	県内の中3のうち、全国上位4分の1に含まれる生徒の割合 (数学)	
客観	県内の中3のうち、全国下位4分の1に含まれる生徒の割合 (数学)	
主観	「授業 (国語、算数、数学) がよく分かる」と答える児童生徒 (小6、中3) の割合	
施策2 信州を支える人材の育成		
主観	「将来の夢や目標をもっている」と答える児童生徒 (小6、中3) の割合	全国学力・学習状況調査
主観	「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える児童 (小6) の割合	
主観	「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える生徒 (中3) の割合	
客観	海外への留学者率 (高校生)	県調べ
客観	英語コミュニケーション能力水準: 英語検定3級レベル (中学生)	英語教育実施状況調査
客観	英語コミュニケーション能力水準: 英語検定2級レベル (高校生)	
客観	県内の大学収容力	学校基本調査
施策3 豊かな心と健やかな身体の育成		
主観	「自分にはよいところがあると思う」と答える児童生徒 (小6、中3) の割合	全国学力・学習状況調査
客観	朝食を欠食する児童生徒の割合	
主観	運動やスポーツをすることが好きな子ども (中学生女子) の割合	全国体力・運動能力運動習慣等調査
客観	体育授業以外の1週間の運動実施時間が60分未満の子ども (中学生女子) の割合	
客観	幼保小合同研修会の実施率	学校経営概要
基本目標2 社会全体で、すべての子どもたちが、良質で多様な学びの機会を享受できるようにします		
施策4 地域との連携・協働による安全・安心・信頼の環境づくり		
主観	「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒の割合	学校経営概要
主観	「子どもは喜んで学校に行っている」と答える保護者の割合	
客観	女性教員の管理職登用状況 (公立小中学校の女性校長・教頭の割合)	学校基本調査
客観	女性教員の管理職登用状況 (公立高等学校の女性校長・教頭の割合)	
客観	1ヵ月一人当たりの平均時間外勤務時間が45時間以下の公立小中学校の割合	県調べ
客観	子どもたちが利用する学校等の耐震化率	
施策5 すべての子どもの学びを保障する支援		
客観	新たに不登校となった児童生徒在籍比	問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
客観	特別支援学校高等部卒業生の就労率	県調べ
客観	副次的な学籍を導入している市町村の割合	
客観	子ども・若者支援地域協議会における支援者のうち支援が完了又は継続している者の割合	
客観	放課後子ども総合プラン (児童クラブ・子ども教室) 登録児童数	
客観	SOSの出し方に関する教育を実施する公立中学校の割合	
客観	私立高等学校の募集定員に対する充足率	
基本目標3 誰もが、生涯、学び合い、学び続け、自らの人生と自分たちの社会を創造できる環境をつくります		
施策6 学びの成果が生きる生涯学習の振興		
客観	市町村公民館における学級・講座数	県調べ
客観	県内公共図書館調査相談件数	
客観	他団体との共催事業を実施する市町村公民館の割合	
施策7 潤いと感動をもたらす文化とスポーツの振興		
客観	県立文化会館ホール利用率	県調べ
客観	国・県指定等文化財の件数 (累計)	
客観	県立歴史館の県内小学校による利用率	
客観	地域スポーツクラブに登録している会員の割合	
客観	障がいのある人が参加するプログラムを行っている総合型地域スポーツクラブの割合	
客観	国民体育大会男女総合 (天皇杯) 順位	
客観	文化芸術活動に参加した人の割合	県政モニター調査
客観	運動・スポーツ実施率	
客観	スポーツ観戦率	
客観	スポーツボランティア参加率	